



ふれあい

題字 西村 糸子

瀬田東文化振興会
ビジョン
地域視点で新しい文
化を創造し住みつづ
けたいまち「瀬田東」

☑滋賀県大津市瀬田東文化振興会の情報は、HP 瀬田東文化振興会を検索ください。



コロナ禍の近隣幼稚園、保育園での子供たちの様子と取り組みを伺いました。詳細→P2

新年のご挨拶

瀬田東文化振興会 会長 吉居 紀生

明けましておめでとうございます。コロナ禍ではありますが、皆様にはお健やかで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

振り返りますに高齢者へのワクチン接種が始まり、蔓延防止策が、緊急事態宣言が發出と、また感染者急増に対応が追いつかない事態も生じました。この様な状況に文化振興会の活動もおのずと制約を受けました。一大イベントの文化祭も、年間を通しての子ども達との米作り体験事業も中止に至りました。

そうであっても屋外へ出て、絵本の読み聞かせ、長沢川での川遊び、芋ほり、粘土での須恵器づくりなど、今何ができるかを考え、子ども達との時間を共有してきました。

皆様におかれましては、大変な日常であったと思えます。今年こそはの思いを強くし、コロナの収束を願うばかりです。

本年もどうぞよろしくお願ひ致します。



瀬田東文化振興会では、幼少年期に様々な体験活動を通じて、しっかりと学びの芽を作り育てることを目的とし、東学区の保、幼、小、小Pと協力し活動を行っています。応援よろしく



お隣の高島市教育委員会から、瀬田東文化振興会の取り組みを視察に来てくださいます。源内峠遺跡等を案内し、数々の取り組みの紹介をさせていただきました。

高島市教育委員会 研修会・視察

文化ゾーンフェスタミニ



瀬田東文化振興会 HPQR コード

文化振興会の様々な活動を紹介していますので、ぜひご確認ください。



瀬田東文化振興会だより(51号)
発行日 2022年1月1日
編集人 広報部
発行所 瀬田東文化振興会
大津市一里山三丁目16-1
大津市瀬田東公民館内
077-545-9001
発行責任者 吉居 紀生



角飾り作り

「長沢川には、
どんな生き物
がいるんだろ」



竹げた遊び



長沢川探索



芋ほり体験



須恵器づくり



読み聞かせ

これからも子ども達の健やかな成長の一助となるよう、活動を続けていきます。山ノ神遺跡での植樹迷路づくり計画進行中♪

瀬田東幼稚園・学園前こども園・一里山ひかり保育園の先生にインタビューしました。

〇:コロナ禍。これまでとは違う大変な状況の中で、各園様々な努力があったのではないのでしょうか。それぞれの取り組みと、今後の方針を教えてください。

瀬田東幼稚園…「安心安全」を確保したうえで、活動することがすごく難しかった。密になってはいけないので、参観や、活動を一から考えないといけない。感染予防のため黙食。二年経つので、コロナの生活が子ども達にも定着している。外での活動に力を入れ、文化振興会の皆さんに、発泡スチロール容器での稲栽培などを教えていただいた。あるお父さんが、手作りのクラスを作ってくれたのが嬉しかったが、すずめなどに食べられてしまった。本当は田んぼにいきたくったが、コロナならではの取り組みだったと思う。新米をいただいで、親子ともに喜んでいた。

学園前こども園…去年からスタッフの合言葉。「当たり前前の生活が当たり前前にできるように」子どもたちが我慢するのは違うと先生達と話し「この年だから仕方ない」とならないように考えた。形を変えて運動会や発表会も開催。運動会の見場所や、区画を決めて事前に抽選などして、密を回避。

親が安心して参加できる環境をつくった。昨年度、プールはできなかったが、ウォーターパーク作ろう!と、スプリングラミみたいな物で、水浴びして。お別れ遠足は、おでかけはできなかったが、園内で、卒園する五歳児を招いて、お祭りを実施。「今年で良かった!」となるくらいのこと。代替え案としてやった。給食の時間も悩んだ。距離をとったりしたが、今は一方向を向いて食べる。音楽流して、音楽が聞こえるように話そうと工夫をしている。マスクをすると表情がわからないと思っただが、0歳から子どもたちは、マスクの中でも笑っていることがわかる!こどもの力はすごい!笑いかけると、子どもは笑うんです。自分が作ったものを、自分で食べる形をとること、食育にも力を入れることができた。

一里山ひかり保育園…同様に、コロナ禍でもできることをさせてあげたいと思いい、運動会は、園内グラウンドで実施。家族の席決めも、子どもたちがくじを引いてきめた。参観もあるが、以前と比べ、クラスの座談会などがなく、同じ年齢の子を見る機会が少ない。「うちの子どうなんやろう?」って思う親御さんがおられた。面談、サポートをしっかりと。気軽に相談できる機会がない。親同士つながり希薄になってきているように感じる。やっと感染おちついてきたので、参観の中で、ほかの子どもの姿をみる、集団での姿を見る親同士も話してもらいたい。コロナ感染者が出て、休園もあった。親も、保育者も不安だったが、すごく協力をくださった。今後もできる限りの対策を継続

していききたい。活動も全部はできないが、できる限りやろう!と方向転換できたのはよかった。文化振興会さんの協力で、芋ほりもできた。自分の聴いてほしいことを、子供たちは文化振興会の人にもいっぱいしゃべる。現状を逆手にとって、楽しめることを今やる!という感じで無くすのではない取り組みを続けたい。

学園前こども園…今年四月から一時保育やりはじめた。問い合わせが多い。子育てサークルもやっている。開催するとすぐに枠が埋まる。それだけ、外出したいし、安心して行ける場所を探しておられるのではないかと。

文振平塚…前向きに歩んでくれていることがすごく嬉しい。小学生になって、こどもたち同士で遊び始めると、親同士が知らないことが多い。サークルなどの取り組みが、つながりを増やしていってくれる。そこまでは考えてくれていたこともすごくありがたいです。

吉居会長…我々も、子どもたちの成長に、少しでも良い影響をあたえられようように協力したい。



瀬田東文化振興会では、幼少年期に様々な体験活動を通じて、しっかりと学びの芽を育てることを目的とし、東学区の保、幼、小、小Pと協力し活動をしています。応援よろしく